

上越市立柿崎中学校だより 令和4年12月20日発行



第8号

せ い し ゅ ん ふ た た び き た ら ず

青春不再来

柿崎区法音寺 392-1 TEL:536-2496 <http://www.kakizaki-j.jorne.ed.jp/>

「青春不再来」は、大廊下に掲げられている木彫の言葉です。

「学習、生徒会、部活動などに、生徒は一生懸命です。悩んでいる生徒もいます。でも、どの生徒も、かけがえのない中学校生活を精一杯生きている。」という意味です。

「幸運」は準備していた人のところに訪れる

校長 大塚 啓

令和4年もういよいよ大詰めです。今年一年を振り返る大事な時期を迎えています。私個人としては、4月からこれまでの間、生徒のよさを感じながら毎日を過ごすことができたことは、何事にも代えがたい喜びでした。うまくいったことばかりでなく、反省すべきことも多々ありますが、保護者、地域の皆さんの応援のお陰で、何とか今年を締めくくることができそうです。この場を借りて、厚く御礼申し上げます。

さて、世の中では、中東・カタールでのワールドカップサッカー日本代表の活躍が大きな話題となっています。残念ながら決勝トーナメントでは1回戦で敗れてしまいましたが、しかし、予選リーグで強豪のドイツやスペインに勝利した日本代表、勇気と感動を与えてくれた選手たちや監督に、大きな拍手を送りたいと思います。



そんな中、特に話題の中心だったのがスペイン戦での三苫（みとま）選手の相手ゴールライン際のプレーでした。三苫選手が全力でボールを追いかけてラインギリギリで足を出し、ゴール前にいた田中選手にボールをつないだ一瞬のあの場面。見ていた人は皆、ゴールラインを割ってしまったのではないかと考えていました。しかし、三苫選手は、最後の最後まで可能性を信じて、あきらめずに足を出した。ある報道では、VAR判定の真上からの写真で、ラインとボールとは1.88ミリ重なっていたと言っていました。それも「幸運」だし、パスが田中選手につながりゴールできたのも「幸運」としか言い様がありません。

その後のニュースでは、三苫選手と田中選手が少年時代から同じチームでサッカーをしていて強い絆で結ばれていたこと、その時の映像や指導者の言葉が様々映し出されていました。私は、そういう話をたくさん見聞きして、この「幸運」は必然的に訪れたものなんだなと感じました。夢をもって練習し続けた結果、当然起きた出来事だと。まさに、「『幸運』は、夢をもち日々努力を重ね、準備していた人のところにやってくる」と強く感じた次第です。

学校では、先般、次年度の生徒会役員選挙が行われ、新三役に就任する生徒が決まりました。新組織を中心とした柿中生徒会に「幸運」が訪れるよう、サッカー日本代表のように、夢を大きくもち、日々の努力や準備を重ね、仲間との絆を大切にはぐくむことを大切にしたいと思います。



保護者、地域の皆様、新しい柿中の伝統を築くスタートラインに立った1・2年生、そして、もうすぐ中学校生活最後の締めくくりを迎える3年生へのエールをよろしく願いいたします。

ハッピーなかま集会

いじめ見逃しゼロスクール集会 with 柿崎小・上下浜小・下黒川小

11月11日(金)、柿崎中学校体育館を会場に柿崎中学校区「ハッピーなかま集会」が行われました。この集会は、区内3小学校の6年生と柿崎中1年生とが一緒になって「いじめ見逃しゼロ」を目指す活動です。今年度は『いじめ』につながらない『いじり』はあるのか」というテーマについて考えました。グループに分かれて、全員が自分の考えを発表し、出された考えについて意見交換を行いました。「仲の良い友達同士なら、度を過ぎなければいいのではないか」「相手が嫌だと思ったら、それはいじめなので絶対ダメ!」「嫌かどうかは、その日の体調や心の状態で変わるもの」など、一人一人が仲間の考えを聞き、自分の考えを深めていました。集会を終えてからの生徒の感想を掲載いたします。

- ・最初はいじめにならない「いじり」はあると思っていたけど、みんなの意見を聞いたり動画を見たりしたら自分の意見や考え方が変わりました。動画の最後に男の人が「考えが甘かった」と言っていて、私の考え方も甘かったなと思いました。
- ・ハッピーなかま集会で感じたことは「いじめ」につながらないいじりはないということです。いじっている人といじられている人がそう思っていないくても、周りから見るといじめのように見られ、嫌な思いをしているかもしれません。その人が、そんな学校に行きたくないと考えることもあると思う。
- ・「相手の立場に立って行動すること」の大切さを改めて実感しました。人によって「許される限度」は違います。また、「嫌」という気持ちを伝えられずに苦しむ人もいます。だから私は、相手の気持ちをよく考えて、行動していきたいです。



第2回学校運営協議会&柿崎区CS交流会

11月11日(金)、第2回学校運営協議会を実施しました。前半は、中学校区の小学6年生も参加して行われた「ハッピーなかま集会」を参観していただきました。委員の皆様からは「昨年度、小学生だった子たちが、会のリーダーとして活躍している姿を見て、着実に成長していることがうかがえた。」とお褒めの言葉をいただきました。協議会では、「あいさつ運動や時代夏まつり等、今や中学生の力が不可欠となっている。今後も故郷を愛する心を育ててほしい。」「自分らしさを出して生活している生徒が多いと感じた。コロナ禍での活動制限がある中で、創意工夫して教育活動を展開してもらっていると思う。」と生徒たちの学習環境や行事への影響についてご意見をいただきました。

また11月25日(金)には、柿崎中学校区4校CS交流会を実施しました。今年度は、柿崎区総合事務所長の新部 彰様からご講演をいただきました。柿崎の自然や歴史、文化等の魅力や子どもの出生数から予想される将来的な展望や学校教育の在り方について、資料を使って分かりやすくお話しいただきました。



上越地区 各種新人大会 他

☆野球部 (オンヨネ・カップ)
二回戦敗退

☆卓球部 男子

団体戦 2回戦敗退

個人戦 2年の部 山賀 陽太 2位 **県大会出場**
1年の部 八木 悠貴 9位 **県大会出場**

☆卓球部 女子

団体 5位 **県大会出場**

個人戦 2年の部 熊木 琴望 3位 **県大会出場**
1年の部 室岡 未来 3位 中島 滯奈 4位 八木 陽詩 9位 **県大会出場**

☆ソフトテニス部 男子

二回戦敗退 ベスト 8

☆ソフトテニス部 女子

三回戦敗退 ベスト 8

☆バレーボール部 女子 **準優勝 県大会出場**

1回戦 2対0 柏崎第一

2回戦 2対0 中郷・大島・城東

準々決勝 2対1 刈羽

準決勝

2対0 潮陵

決勝

0対2 鏡が沖



学校保健委員会 ゲームやデジタル機器との上手な付き合い方

11月21日(月)に学校保健委員会を実施しました。今年度は、上越教育大学の田中圭介様から「ゲームやデジタル機器との上手な付き合い方」というテーマでご講演いただきました。生徒は「ゲームやスマホは楽しく使えるし便利だけど、使い過ぎると自分にとって悪いこともたくさんあるので、使う頻度や時間に気を付けたい」と自分の生活を振り返っていました。参加いただいた保護者からは「子どもはだん

だんとルールを守らなくなり、最初は注意していたが、親も注意することが減ってし

まい、随分と使用時間が増えてしまった。依存症になる前に、自分でコントロールできるようになってほしい。」と子どもへの願いを語ってくださいました。



第2回 避難訓練 ～様々な想定を意識して～

11月18日(金)、今年度2回目の避難訓練を実施しました。今回は地震発生を想定しての訓練でした。緊急地震放送が入り、直後から地震で校舎が揺れる音が鳴り響きました。緊張感のある中で、子どもたちは自分の身を守る行動をしっかりととることができました。また、1学期に実施できなかった閉鎖している防火扉を通過する練習も実施し、万々に備えることができました。



中学3年生の学校生活 3年1組



みなさんは中学時代をどのように過ごしていたか覚えていますか。今日は、3年1組に潜入し、中学生は今、何を学習しているのかを見ていただき、中学時代を思い出してもらおうと考え、企画いたしました。



1 限の数学では相似な図形を学んでいます。この後、「**中点連結定理**」を学習します。



2 限は英語です。柿崎を紹介するスピーキングの練習をしています。ここでは、**関係代名詞**を学びます。



3 限社会は政治について学習しています。**三権分立**を唱えたのはモロオスオユオです。



昼休みは、体育館で遊んだり、教室でおしゃべりをしたり、とっても**ハッピーな時間**です。



ここで、待ちに待った**給食**です。今日の献立は、**つみれ汁と揚げ出し豆腐**です。



4 限は体育で柔道です。男子も女子も必修となりました。今日は、**体落**として**大内刈り**を学習しました。



5 限の美術では**2点透視図法**を学習しています。集中して取り組んでおり、Very Good です。



6 限理科では**天体**を学んでいます。自転によって、星は1時間に何度移動するか覚えていますか？



1・2年生は部活動になりますが、3年生は下校し、**受験勉強**に取り組めます。進路実現に向け、Fight です。

令和5年度 生徒会役員選挙



11月29日(火)から令和5年度の生徒会役員、選挙活動が始まりました。今年度の生徒会は、「自主性・主体性～歴史を創る柿中生～」のもと、大きな一歩を標しました。コロナ禍でありながら、学校内外で多くのチャレンジを試み、柿崎中学校の活動を発展させました。今回の選挙は、令和5年度の柿崎中学校の方向性を決める選挙です。立候補者は朝から玄関に立ち挨拶運動を行ったり、

立会演説会(リモート)で全校生徒に自分の想いを伝えていたりしました。

